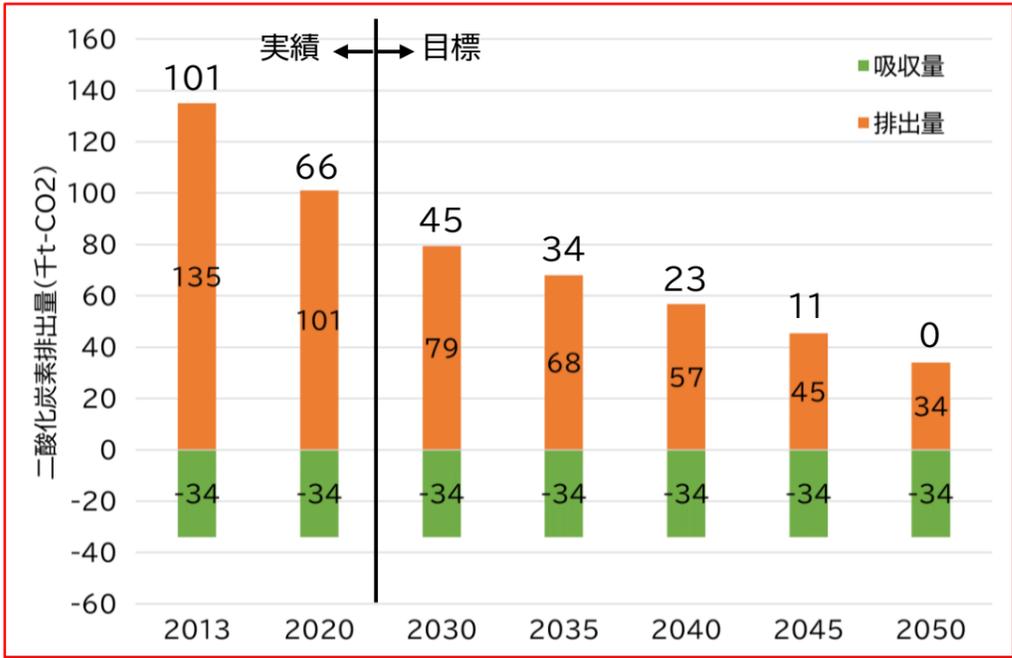
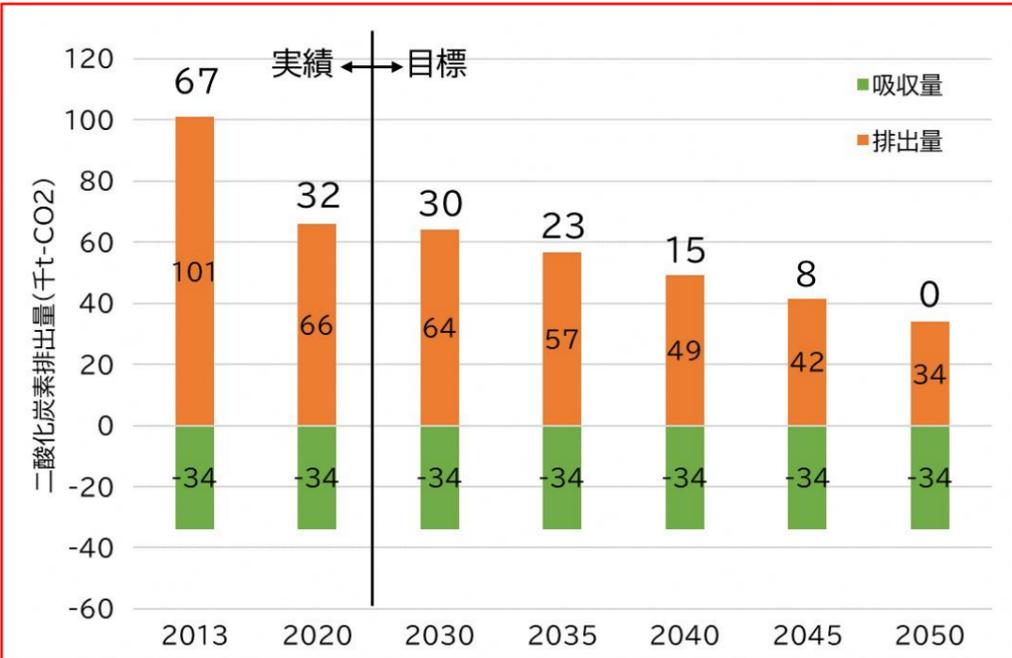


三種町地域脱炭素実行計画 変更箇所対照表

変更箇所 (変更後案の頁)	変更後 (案)	変更前																																																																
第1編 地球温暖化対策実行計画 区域施策編 第3章 地球温暖化対策の目標及び基本的考え方 3-1 地球温暖化対策の目標値 (24頁)	(略) 表3-1 5年ごとの地球温暖化対策の目標 <table border="1" data-bbox="587 426 1647 877"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)</th> <th>削減目標</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>101千t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>67千t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2030年度</td> <td>45千t-CO₂</td> <td>-55%</td> <td>秋田県の目標 -54%</td> </tr> <tr> <td>2035年度</td> <td>34千t-CO₂</td> <td>-66%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2040年度</td> <td>23千t-CO₂</td> <td>-78%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2045年度</td> <td>11千t-CO₂</td> <td>-89%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2050年度</td> <td>0t-CO₂</td> <td>-100%</td> <td>カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図3-1 二酸化炭素排出量削減目標のイメージ</p>	年度	二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)	削減目標	備考	2013年度	101千t-CO ₂	—	実績	2020年度	67千t-CO ₂	—	実績	2030年度	45千t-CO ₂	-55%	秋田県の目標 -54%	2035年度	34千t-CO ₂	-66%		2040年度	23千t-CO ₂	-78%		2045年度	11千t-CO ₂	-89%		2050年度	0t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル	(略) 表3-1 5年ごとの地球温暖化対策の目標 <table border="1" data-bbox="1712 426 2772 877"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)</th> <th>削減目標</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>67千t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>32千t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2030年度</td> <td>30千t-CO₂</td> <td>-55%</td> <td>秋田県の目標 -54%</td> </tr> <tr> <td>2035年度</td> <td>23千t-CO₂</td> <td>-66%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2040年度</td> <td>15千t-CO₂</td> <td>-78%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2045年度</td> <td>8千t-CO₂</td> <td>-89%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2050年度</td> <td>0t-CO₂</td> <td>-100%</td> <td>カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図3-1 二酸化炭素排出量削減目標のイメージ</p>	年度	二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)	削減目標	備考	2013年度	67千t-CO ₂	—	実績	2020年度	32千t-CO ₂	—	実績	2030年度	30千t-CO ₂	-55%	秋田県の目標 -54%	2035年度	23千t-CO ₂	-66%		2040年度	15千t-CO ₂	-78%		2045年度	8千t-CO ₂	-89%		2050年度	0t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル
年度	二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)	削減目標	備考																																																															
2013年度	101千t-CO ₂	—	実績																																																															
2020年度	67千t-CO ₂	—	実績																																																															
2030年度	45千t-CO ₂	-55%	秋田県の目標 -54%																																																															
2035年度	34千t-CO ₂	-66%																																																																
2040年度	23千t-CO ₂	-78%																																																																
2045年度	11千t-CO ₂	-89%																																																																
2050年度	0t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル																																																															
年度	二酸化炭素排出量 (森林吸収量控除後)	削減目標	備考																																																															
2013年度	67千t-CO ₂	—	実績																																																															
2020年度	32千t-CO ₂	—	実績																																																															
2030年度	30千t-CO ₂	-55%	秋田県の目標 -54%																																																															
2035年度	23千t-CO ₂	-66%																																																																
2040年度	15千t-CO ₂	-78%																																																																
2045年度	8千t-CO ₂	-89%																																																																
2050年度	0t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル																																																															

変更箇所 (変更後案の頁)	変更後 (案)	変更前																		
第1編 地球温暖化対策実行計画 区域施策編 第4章 地球温暖化対策に関する施策 4-2 産業振興のまちづくり (33頁)	<p>(略)</p> <p>【施策9】海の環境の改善</p> <p>海の環境を改善し、ブルーカーボン生態系を維持することで、温室効果ガスの吸収源としての機能維持に取り組み、Jブルークレジットを活用したクレジットの売買について検討します。</p> <table border="1" data-bbox="569 527 1635 663"> <thead> <tr> <th>施策目標</th> <th>2025年</th> <th>2030年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海の環境の改善</td> <td>実態把握、普及啓発</td> <td>海の環境改善、クレジット創出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施策10】地域エネルギー会社の設立</p> <p><u>町と地元企業が出資し、太陽光・風力など地域の再生可能エネルギー資源を活用して、電力の地産地消と地域経済活性化、脱炭素化を目指します。</u></p> <table border="1" data-bbox="569 940 1635 1037"> <thead> <tr> <th>施策目標</th> <th>2025年</th> <th>2030年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域エネルギー会社の設立</td> <td>調査、検討</td> <td>設立、運営</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 施策のロードマップ 各施策の長期ロードマップ及び短期ロードマップを以下に示します。 施策の実施は可能な範囲で前倒しし、早期のカーボンニュートラルを目指します。</p>	施策目標	2025年	2030年	海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出	施策目標	2025年	2030年	地域エネルギー会社の設立	調査、検討	設立、運営	<p>(略)</p> <p>【施策9】海の環境の改善</p> <p>海の環境を改善し、ブルーカーボン生態系を維持することで、温室効果ガスの吸収源としての機能維持に取り組み、Jブルークレジットを活用したクレジットの売買について検討します。</p> <table border="1" data-bbox="1694 527 2760 663"> <thead> <tr> <th>施策目標</th> <th>2025年</th> <th>2030年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海の環境の改善</td> <td>実態把握、普及啓発</td> <td>海の環境改善、クレジット創出</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(追加)</u></p> <p>4-3 施策のロードマップ 各施策の長期ロードマップ及び短期ロードマップを以下に示します。 施策の実施は可能な範囲で前倒しし、早期のカーボンニュートラルを目指します。</p>	施策目標	2025年	2030年	海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出
施策目標	2025年	2030年																		
海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出																		
施策目標	2025年	2030年																		
地域エネルギー会社の設立	調査、検討	設立、運営																		
施策目標	2025年	2030年																		
海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出																		

変更箇所 (変更後案の頁)	変更後 (案)	変更前																																																																																																																																																																					
第1編 地球温暖化対策実行計画 区域施策編 第4章 地球温暖化対策に関する施策 4-3 施策のロードマップ (34頁)	<p style="text-align: center;">各施策の長期ロードマップ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>(短期) 2025</th> <th>(中期) 2030</th> <th>(長期) 2050</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策1 暮らしの脱炭素化</td> <td colspan="3">普及啓発、環境教育、ゴミの減量</td> </tr> <tr> <td>施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ア) 既存住宅の断熱改修推進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>ウ) 中小企業における省エネ対策の推進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)</td> <td>基礎調査</td> <td colspan="2">施設への設置(防災拠点優先)</td> </tr> <tr> <td>施策4 交通システムの維持、脱炭素化</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ア) 充電設備の拡充</td> <td>設置検討</td> <td colspan="2">設備設置</td> </tr> <tr> <td>イ) コミュニティバスの利用拡大</td> <td colspan="2">利用の促進、利用者数拡大・維持</td> <td>車両のEV化</td> </tr> <tr> <td>ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入</td> <td colspan="2">EV化の推進(公用車は率先)</td> <td>新車のEV等義務化</td> </tr> <tr> <td>施策5 農林水産業の収入基盤の安定</td> <td>普及啓発、クレジット創出</td> <td>クレジット販売</td> <td>継続的な収益化</td> </tr> <tr> <td>施策6 資源の地域内循環</td> <td>仕組み構築</td> <td>クレジット販売</td> <td>継続的な収益化</td> </tr> <tr> <td>施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化</td> <td>遊休農地実態把握</td> <td colspan="2">遊休農地活用、スマート農業の推進</td> </tr> <tr> <td>施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理</td> <td colspan="3">継続的な維持管理、クレジット創出・販売</td> </tr> <tr> <td>施策9 海の環境の改善</td> <td>実態把握、普及啓発</td> <td colspan="2">海の環境改善、クレジット創出・販売</td> </tr> <tr> <td>施策10 地域エネルギー会社の設立</td> <td>調査、検討</td> <td colspan="2">設立、事業実施</td> </tr> </tbody> </table>	施策	(短期) 2025	(中期) 2030	(長期) 2050	施策1 暮らしの脱炭素化	普及啓発、環境教育、ゴミの減量			施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上				ア) 既存住宅の断熱改修推進	普及啓発	事業実施		イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進	普及啓発	事業実施		ウ) 中小企業における省エネ対策の推進	普及啓発	事業実施		施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)	基礎調査	施設への設置(防災拠点優先)		施策4 交通システムの維持、脱炭素化				ア) 充電設備の拡充	設置検討	設備設置		イ) コミュニティバスの利用拡大	利用の促進、利用者数拡大・維持		車両のEV化	ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入	EV化の推進(公用車は率先)		新車のEV等義務化	施策5 農林水産業の収入基盤の安定	普及啓発、クレジット創出	クレジット販売	継続的な収益化	施策6 資源の地域内循環	仕組み構築	クレジット販売	継続的な収益化	施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地実態把握	遊休農地活用、スマート農業の推進		施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理	継続的な維持管理、クレジット創出・販売			施策9 海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出・販売		施策10 地域エネルギー会社の設立	調査、検討	設立、事業実施		<p style="text-align: center;">各施策の長期ロードマップ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>(短期) 2025</th> <th>(中期) 2030</th> <th>(長期) 2050</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策1 暮らしの脱炭素化</td> <td colspan="3">普及啓発、環境教育、ゴミの減量</td> </tr> <tr> <td>施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ア) 既存住宅の断熱改修推進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>ウ) 中小企業における省エネ対策の推進</td> <td>普及啓発</td> <td colspan="2">事業実施</td> </tr> <tr> <td>施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)</td> <td>基礎調査</td> <td colspan="2">施設への設置(防災拠点優先)</td> </tr> <tr> <td>施策4 交通システムの維持、脱炭素化</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ア) 充電設備の拡充</td> <td>設置検討</td> <td colspan="2">設備設置</td> </tr> <tr> <td>イ) コミュニティバスの利用拡大</td> <td colspan="2">利用の促進、利用者数拡大・維持</td> <td>車両のEV化</td> </tr> <tr> <td>ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入</td> <td colspan="2">EV化の推進(公用車は率先)</td> <td>新車のEV等義務化</td> </tr> <tr> <td>施策5 農林水産業の収入基盤の安定</td> <td>普及啓発、クレジット創出</td> <td>クレジット販売</td> <td>継続的な収益化</td> </tr> <tr> <td>施策6 資源の地域内循環</td> <td>仕組み構築</td> <td>クレジット販売</td> <td>継続的な収益化</td> </tr> <tr> <td>施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化</td> <td>遊休農地実態把握</td> <td colspan="2">遊休農地活用、スマート農業の推進</td> </tr> <tr> <td>施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理</td> <td colspan="3">継続的な維持管理、クレジット創出・販売</td> </tr> <tr> <td>施策9 海の環境の改善</td> <td>実態把握、普及啓発</td> <td colspan="2">海の環境改善、クレジット創出・販売</td> </tr> </tbody> </table> <p>(施策10追加)</p>	施策	(短期) 2025	(中期) 2030	(長期) 2050	施策1 暮らしの脱炭素化	普及啓発、環境教育、ゴミの減量			施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上				ア) 既存住宅の断熱改修推進	普及啓発	事業実施		イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進	普及啓発	事業実施		ウ) 中小企業における省エネ対策の推進	普及啓発	事業実施		施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)	基礎調査	施設への設置(防災拠点優先)		施策4 交通システムの維持、脱炭素化				ア) 充電設備の拡充	設置検討	設備設置		イ) コミュニティバスの利用拡大	利用の促進、利用者数拡大・維持		車両のEV化	ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入	EV化の推進(公用車は率先)		新車のEV等義務化	施策5 農林水産業の収入基盤の安定	普及啓発、クレジット創出	クレジット販売	継続的な収益化	施策6 資源の地域内循環	仕組み構築	クレジット販売	継続的な収益化	施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地実態把握	遊休農地活用、スマート農業の推進		施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理	継続的な維持管理、クレジット創出・販売			施策9 海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出・販売																																		
施策	(短期) 2025	(中期) 2030	(長期) 2050																																																																																																																																																																				
施策1 暮らしの脱炭素化	普及啓発、環境教育、ゴミの減量																																																																																																																																																																						
施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上																																																																																																																																																																							
ア) 既存住宅の断熱改修推進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
ウ) 中小企業における省エネ対策の推進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)	基礎調査	施設への設置(防災拠点優先)																																																																																																																																																																					
施策4 交通システムの維持、脱炭素化																																																																																																																																																																							
ア) 充電設備の拡充	設置検討	設備設置																																																																																																																																																																					
イ) コミュニティバスの利用拡大	利用の促進、利用者数拡大・維持		車両のEV化																																																																																																																																																																				
ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入	EV化の推進(公用車は率先)		新車のEV等義務化																																																																																																																																																																				
施策5 農林水産業の収入基盤の安定	普及啓発、クレジット創出	クレジット販売	継続的な収益化																																																																																																																																																																				
施策6 資源の地域内循環	仕組み構築	クレジット販売	継続的な収益化																																																																																																																																																																				
施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地実態把握	遊休農地活用、スマート農業の推進																																																																																																																																																																					
施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理	継続的な維持管理、クレジット創出・販売																																																																																																																																																																						
施策9 海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出・販売																																																																																																																																																																					
施策10 地域エネルギー会社の設立	調査、検討	設立、事業実施																																																																																																																																																																					
施策	(短期) 2025	(中期) 2030	(長期) 2050																																																																																																																																																																				
施策1 暮らしの脱炭素化	普及啓発、環境教育、ゴミの減量																																																																																																																																																																						
施策2 住宅、事業所等の建築物のIHC-効率向上																																																																																																																																																																							
ア) 既存住宅の断熱改修推進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
イ) 新築/既存建築物への太陽光発電設備及び蓄電池の設置促進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
ウ) 中小企業における省エネ対策の推進	普及啓発	事業実施																																																																																																																																																																					
施策3 公共施設の防災機能の向上(再エネ設備等の設置)	基礎調査	施設への設置(防災拠点優先)																																																																																																																																																																					
施策4 交通システムの維持、脱炭素化																																																																																																																																																																							
ア) 充電設備の拡充	設置検討	設備設置																																																																																																																																																																					
イ) コミュニティバスの利用拡大	利用の促進、利用者数拡大・維持		車両のEV化																																																																																																																																																																				
ウ) 公用車・高用車・家用車のEV等の導入	EV化の推進(公用車は率先)		新車のEV等義務化																																																																																																																																																																				
施策5 農林水産業の収入基盤の安定	普及啓発、クレジット創出	クレジット販売	継続的な収益化																																																																																																																																																																				
施策6 資源の地域内循環	仕組み構築	クレジット販売	継続的な収益化																																																																																																																																																																				
施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地実態把握	遊休農地活用、スマート農業の推進																																																																																																																																																																					
施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理	継続的な維持管理、クレジット創出・販売																																																																																																																																																																						
施策9 海の環境の改善	実態把握、普及啓発	海の環境改善、クレジット創出・販売																																																																																																																																																																					
(36頁)	<p style="text-align: center;">各施策の短期ロードマップ②(産業振興のまちづくりの施策)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>小項目</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施策5 農林水産業の収入基盤の安定</td> <td>農業</td> <td colspan="2">Jクレジット普及啓発</td> <td colspan="5">クレジット創出、販売</td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td colspan="7">適切な森林管理を継続</td> </tr> <tr> <td>水産業</td> <td colspan="2">既存クレジット販売</td> <td colspan="5">クレジットの創出、販売</td> </tr> <tr> <td>施策6 資源の地域内循環</td> <td></td> <td colspan="2">くん炭の活用方法検討</td> <td colspan="5">クレジット創出、販売</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化</td> <td>遊休農地の活用</td> <td colspan="2">実態把握、ソーニング検討</td> <td colspan="5">再エネ設備の導入等の活用</td> </tr> <tr> <td>スマート農業の推進</td> <td colspan="7">普及啓発、導入推進</td> </tr> <tr> <td>施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理</td> <td></td> <td colspan="7">適切な森林管理を継続</td> </tr> <tr> <td>施策9 海の環境の改善</td> <td></td> <td colspan="2">海底の実態把握</td> <td colspan="5">海の環境改善、クレジット創出</td> </tr> <tr> <td>施策10 地域エネルギー会社の設立</td> <td></td> <td colspan="2">専門的な調査、検討</td> <td colspan="2">設立、事業開始</td> <td colspan="3">供給先の拡大</td> </tr> </tbody> </table>	施策	小項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	施策5 農林水産業の収入基盤の安定	農業	Jクレジット普及啓発		クレジット創出、販売					林業	適切な森林管理を継続							水産業	既存クレジット販売		クレジットの創出、販売					施策6 資源の地域内循環		くん炭の活用方法検討		クレジット創出、販売					施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地の活用	実態把握、ソーニング検討		再エネ設備の導入等の活用					スマート農業の推進	普及啓発、導入推進							施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理		適切な森林管理を継続							施策9 海の環境の改善		海底の実態把握		海の環境改善、クレジット創出					施策10 地域エネルギー会社の設立		専門的な調査、検討		設立、事業開始		供給先の拡大			<p style="text-align: center;">各施策の短期ロードマップ②(産業振興のまちづくりの施策)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>小項目</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施策5 農林水産業の収入基盤の安定</td> <td>農業</td> <td colspan="2">Jクレジット普及啓発</td> <td colspan="5">クレジット創出、販売</td> </tr> <tr> <td>林業</td> <td colspan="7">適切な森林管理を継続</td> </tr> <tr> <td>水産業</td> <td colspan="2">既存クレジット販売</td> <td colspan="5">クレジットの創出、販売</td> </tr> <tr> <td>施策6 資源の地域内循環</td> <td></td> <td colspan="2">くん炭の活用方法検討</td> <td colspan="5">クレジット創出、販売</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化</td> <td>遊休農地の活用</td> <td colspan="2">実態把握、ソーニング検討</td> <td colspan="5">再エネ設備の導入等の活用</td> </tr> <tr> <td>スマート農業の推進</td> <td colspan="7">普及啓発、導入推進</td> </tr> <tr> <td>施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理</td> <td></td> <td colspan="7">適切な森林管理を継続</td> </tr> <tr> <td>施策9 海の環境の改善</td> <td></td> <td colspan="2">海底の実態把握</td> <td colspan="5">海の環境改善、クレジット創出</td> </tr> </tbody> </table> <p>(施策10追加)</p>	施策	小項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	施策5 農林水産業の収入基盤の安定	農業	Jクレジット普及啓発		クレジット創出、販売					林業	適切な森林管理を継続							水産業	既存クレジット販売		クレジットの創出、販売					施策6 資源の地域内循環		くん炭の活用方法検討		クレジット創出、販売					施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地の活用	実態把握、ソーニング検討		再エネ設備の導入等の活用					スマート農業の推進	普及啓発、導入推進							施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理		適切な森林管理を継続							施策9 海の環境の改善		海底の実態把握		海の環境改善、クレジット創出				
施策	小項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																															
施策5 農林水産業の収入基盤の安定	農業	Jクレジット普及啓発		クレジット創出、販売																																																																																																																																																																			
	林業	適切な森林管理を継続																																																																																																																																																																					
	水産業	既存クレジット販売		クレジットの創出、販売																																																																																																																																																																			
施策6 資源の地域内循環		くん炭の活用方法検討		クレジット創出、販売																																																																																																																																																																			
施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地の活用	実態把握、ソーニング検討		再エネ設備の導入等の活用																																																																																																																																																																			
	スマート農業の推進	普及啓発、導入推進																																																																																																																																																																					
施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理		適切な森林管理を継続																																																																																																																																																																					
施策9 海の環境の改善		海底の実態把握		海の環境改善、クレジット創出																																																																																																																																																																			
施策10 地域エネルギー会社の設立		専門的な調査、検討		設立、事業開始		供給先の拡大																																																																																																																																																																	
施策	小項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030																																																																																																																																																															
施策5 農林水産業の収入基盤の安定	農業	Jクレジット普及啓発		クレジット創出、販売																																																																																																																																																																			
	林業	適切な森林管理を継続																																																																																																																																																																					
	水産業	既存クレジット販売		クレジットの創出、販売																																																																																																																																																																			
施策6 資源の地域内循環		くん炭の活用方法検討		クレジット創出、販売																																																																																																																																																																			
施策7 脱炭素と組み合わせた農業の効率化	遊休農地の活用	実態把握、ソーニング検討		再エネ設備の導入等の活用																																																																																																																																																																			
	スマート農業の推進	普及啓発、導入推進																																																																																																																																																																					
施策8 炭素吸収源としての森林の適切な維持管理		適切な森林管理を継続																																																																																																																																																																					
施策9 海の環境の改善		海底の実態把握		海の環境改善、クレジット創出																																																																																																																																																																			

変更箇所 (変更後案の頁)	変更後 (案)	変更前																																																																																																																																												
第2編 地球温暖化対策実行計画 事務事業編 第2章 計画の目標 2-1 温室効果ガスの種類と排出量 (39頁)	<p>② 温室効果ガスの排出量</p> <p>令和4年度に本町の事務事業から発生した温室効果ガスの排出量（燃料の燃焼及び電気の使用に係る二酸化炭素の排出量）は、表2-2のとおり<u>4,613t (CO₂)</u>となっています。</p> <p style="text-align: center;">表2-2 令和4年度温室効果ガス排出状況</p> <table border="1" data-bbox="587 520 1650 1108"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">年間使用量</th> <th>二酸化炭素 換算排出量 (t)</th> <th>構成比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">二酸化炭素 (CO₂)</td> <td>電気</td> <td>6,264,136</td> <td>kWh</td> <td><u>3,107.0</u></td> <td><u>67.3</u></td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>495,948</td> <td>L</td> <td>1,234.9</td> <td><u>26.8</u></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>5,174</td> <td>L</td> <td>13.3</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>LPG</td> <td>42,604</td> <td>kg</td> <td>127.8</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>56,039</td> <td>L</td> <td>130.0</td> <td><u>2.8</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="2">—</td> <td><u>4,613.0</u></td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">表2-3 5年ごとの二酸化炭素排出量の削減目標</p> <table border="1" data-bbox="566 1241 1632 1948"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>二酸化炭素排出量</th> <th>削減目標^{※1}</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>5,265 t-CO₂</td> <td>—</td> <td>推計^{※2}</td> </tr> <tr> <td>2022年度</td> <td>4,613 t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2030年度</td> <td><u>1,506 t-CO₂</u></td> <td><u>-71.4%</u></td> <td>秋田県の目標 2013年度比-58%</td> </tr> <tr> <td>2035年度</td> <td><u>1,129 t-CO₂</u></td> <td><u>-78.6%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2040年度</td> <td><u>753 t-CO₂</u></td> <td><u>-85.7%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2045年度</td> <td><u>376 t-CO₂</u></td> <td><u>-92.9%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2050年度</td> <td>0 t-CO₂</td> <td>-100%</td> <td>カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table>	区分		年間使用量		二酸化炭素 換算排出量 (t)	構成比 (%)	二酸化炭素 (CO ₂)	電気	6,264,136	kWh	<u>3,107.0</u>	<u>67.3</u>	灯油	495,948	L	1,234.9	<u>26.8</u>	軽油	5,174	L	13.3	0.3	LPG	42,604	kg	127.8	2.8	ガソリン	56,039	L	130.0	<u>2.8</u>	合計		—		<u>4,613.0</u>	100.0	年度	二酸化炭素排出量	削減目標 ^{※1}	備考	2013年度	5,265 t-CO ₂	—	推計 ^{※2}	2022年度	4,613 t-CO ₂	—	実績	2030年度	<u>1,506 t-CO₂</u>	<u>-71.4%</u>	秋田県の目標 2013年度比-58%	2035年度	<u>1,129 t-CO₂</u>	<u>-78.6%</u>		2040年度	<u>753 t-CO₂</u>	<u>-85.7%</u>		2045年度	<u>376 t-CO₂</u>	<u>-92.9%</u>		2050年度	0 t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル	<p>② 温室効果ガスの排出量</p> <p>令和4年度に本町の事務事業から発生した温室効果ガスの排出量（燃料の燃焼及び電気の使用に係る二酸化炭素の排出量）は、表2-2のとおり<u>4,488t (CO₂)</u>となっています。</p> <p style="text-align: center;">表2-2 令和4年度温室効果ガス排出状況</p> <table border="1" data-bbox="1709 520 2772 1108"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">年間使用量</th> <th>二酸化炭素 換算排出量 (t)</th> <th>構成比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">二酸化炭素 (CO₂)</td> <td>電気</td> <td>6,264,136</td> <td>kWh</td> <td><u>2,981.7</u></td> <td><u>66.4</u></td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>495,948</td> <td>L</td> <td>1,234.9</td> <td><u>27.5</u></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>5,174</td> <td>L</td> <td>13.3</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>LPG</td> <td>42,604</td> <td>kg</td> <td>127.8</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>56,039</td> <td>L</td> <td>130.0</td> <td><u>2.9</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="2">—</td> <td><u>4,488.0</u></td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">表2-3 5年ごとの二酸化炭素排出量の削減目標</p> <table border="1" data-bbox="1691 1241 2754 1948"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>二酸化炭素排出量</th> <th>削減目標^{※1}</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>5,265 t-CO₂</td> <td>—</td> <td>推計^{※2}</td> </tr> <tr> <td>2022年度</td> <td>4,613 t-CO₂</td> <td>—</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2030年度</td> <td><u>2,211 t-CO₂</u></td> <td><u>-58%</u></td> <td>秋田県の目標 2013年度比-58%</td> </tr> <tr> <td>2035年度</td> <td><u>1,658 t-CO₂</u></td> <td><u>-68.5%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2040年度</td> <td><u>1,106 t-CO₂</u></td> <td><u>-79%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2045年度</td> <td><u>553 t-CO₂</u></td> <td><u>-89.5%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2050年度</td> <td>0 t-CO₂</td> <td>-100%</td> <td>カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table>	区分		年間使用量		二酸化炭素 換算排出量 (t)	構成比 (%)	二酸化炭素 (CO ₂)	電気	6,264,136	kWh	<u>2,981.7</u>	<u>66.4</u>	灯油	495,948	L	1,234.9	<u>27.5</u>	軽油	5,174	L	13.3	0.3	LPG	42,604	kg	127.8	2.8	ガソリン	56,039	L	130.0	<u>2.9</u>	合計		—		<u>4,488.0</u>	100.0	年度	二酸化炭素排出量	削減目標 ^{※1}	備考	2013年度	5,265 t-CO ₂	—	推計 ^{※2}	2022年度	4,613 t-CO ₂	—	実績	2030年度	<u>2,211 t-CO₂</u>	<u>-58%</u>	秋田県の目標 2013年度比-58%	2035年度	<u>1,658 t-CO₂</u>	<u>-68.5%</u>		2040年度	<u>1,106 t-CO₂</u>	<u>-79%</u>		2045年度	<u>553 t-CO₂</u>	<u>-89.5%</u>		2050年度	0 t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル
区分		年間使用量		二酸化炭素 換算排出量 (t)	構成比 (%)																																																																																																																																									
二酸化炭素 (CO ₂)	電気	6,264,136	kWh	<u>3,107.0</u>	<u>67.3</u>																																																																																																																																									
	灯油	495,948	L	1,234.9	<u>26.8</u>																																																																																																																																									
	軽油	5,174	L	13.3	0.3																																																																																																																																									
	LPG	42,604	kg	127.8	2.8																																																																																																																																									
	ガソリン	56,039	L	130.0	<u>2.8</u>																																																																																																																																									
合計		—		<u>4,613.0</u>	100.0																																																																																																																																									
年度	二酸化炭素排出量	削減目標 ^{※1}	備考																																																																																																																																											
2013年度	5,265 t-CO ₂	—	推計 ^{※2}																																																																																																																																											
2022年度	4,613 t-CO ₂	—	実績																																																																																																																																											
2030年度	<u>1,506 t-CO₂</u>	<u>-71.4%</u>	秋田県の目標 2013年度比-58%																																																																																																																																											
2035年度	<u>1,129 t-CO₂</u>	<u>-78.6%</u>																																																																																																																																												
2040年度	<u>753 t-CO₂</u>	<u>-85.7%</u>																																																																																																																																												
2045年度	<u>376 t-CO₂</u>	<u>-92.9%</u>																																																																																																																																												
2050年度	0 t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル																																																																																																																																											
区分		年間使用量		二酸化炭素 換算排出量 (t)	構成比 (%)																																																																																																																																									
二酸化炭素 (CO ₂)	電気	6,264,136	kWh	<u>2,981.7</u>	<u>66.4</u>																																																																																																																																									
	灯油	495,948	L	1,234.9	<u>27.5</u>																																																																																																																																									
	軽油	5,174	L	13.3	0.3																																																																																																																																									
	LPG	42,604	kg	127.8	2.8																																																																																																																																									
	ガソリン	56,039	L	130.0	<u>2.9</u>																																																																																																																																									
合計		—		<u>4,488.0</u>	100.0																																																																																																																																									
年度	二酸化炭素排出量	削減目標 ^{※1}	備考																																																																																																																																											
2013年度	5,265 t-CO ₂	—	推計 ^{※2}																																																																																																																																											
2022年度	4,613 t-CO ₂	—	実績																																																																																																																																											
2030年度	<u>2,211 t-CO₂</u>	<u>-58%</u>	秋田県の目標 2013年度比-58%																																																																																																																																											
2035年度	<u>1,658 t-CO₂</u>	<u>-68.5%</u>																																																																																																																																												
2040年度	<u>1,106 t-CO₂</u>	<u>-79%</u>																																																																																																																																												
2045年度	<u>553 t-CO₂</u>	<u>-89.5%</u>																																																																																																																																												
2050年度	0 t-CO ₂	-100%	カーボンニュートラル																																																																																																																																											
第2編 地球温暖化対策実行計画 事務事業編 第2章 計画の目標 2-2 温室効果ガス総排出量の削減目標 (40頁)																																																																																																																																														

変更箇所 (変更後案の頁)	変更後 (案)	変更前
第2編 地球温暖化対策実行 計画 事務事業編 第3章 目標達成のための取 組 3-1 環境負荷の低減に配 慮した事務の実現 (41頁)	※1 削減目標のパーセントは、2013年度を基準とした削減割合を示す。 ※2 2013年度の二酸化炭素排出量は、2013年度当時の電気使用量等が把握でき ないため、2022年度の電気使用量等と2013年度の排出係数(電気等の単 位使用量当たりの二酸化炭素排出量)を用いて算定した。 (略) (1) 電気使用量の削減 (略) 才. 服装の軽装化 ・冷暖房温度の管理徹底のため、夏季における服装の 軽装化、冬季における重ね着等を励行します。 力. 再生可能エネルギーの利用促進 ・公共施設への太陽光発電設備や蓄電池の設置の可否、導 入量の調査を実施し、可能な限り導入に努めます。 ・ <u>太陽光、風力など地域の再生可能エネルギー資源を活用 した電力の利用に努めます。</u> (2) 燃料使用量の削減 (略)	※1 削減目標のパーセントは、2013年度を基準とした削減割合を示す。 ※2 2013年度の二酸化炭素排出量は、2013年度当時の電気使用量等が把握でき ないため、2022年度の電気使用量等と2013年度の排出係数(電気等の単 位使用量当たりの二酸化炭素排出量)を用いて算定した。 (略) (1) 電気使用量の削減 (略) 才. 服装の軽装化 ・冷暖房温度の管理徹底のため、夏季における服装の 軽装化、冬季における重ね着等を励行します。 力. 再生可能エネルギーの利用促進 ・公共施設への太陽光発電設備や蓄電池の設置の可否、導 入量の調査を実施し、可能な限り導入に努めます。 <u>(追加)</u> (2) 燃料使用量の削減 (略)